

# 全国的な学力調査の実施

平成23年度概算要求額 3,678,774千円(3,317,400千円)

## 【調査の目的】

義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る

そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

## 全国学力・学習状況調査の実施

3,657,773千円(3,290,002千円)

(文部科学省 2,986,986千円)  
(国立教育政策研究所 670,787千円)

実施時期：平成23年4月19日(火)

対象者：小学校第6学年，中学校第3学年の児童生徒

調査方式：抽出調査及び希望利用方式

抽出調査：都道府県毎に平均正答率が95%の確率で誤差1%以内になるよう抽出率(約30%)を設定

希望利用方式：抽出調査対象以外の学校は、学校の設置管理者の希望により、調査を利用することができる

対象教科：国語，算数・数学

主として「知識」及び主として「活用」に関する問題を出題

生活習慣・学習環境等も調査

平成24年度調査より対象教科を追加することができるよう準備を行う

結果を集計・分析し、国全体及び各都道府県等における調査結果を公表

## 教育の改善に活用



## 学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究

21,001千円(23,365千円)

国の教育施策等の一層の改善を図るため、大学等の研究機関の専門的な知見を活用し、高度な分析・検証に関する調査研究を実施